

## 体育館完成と

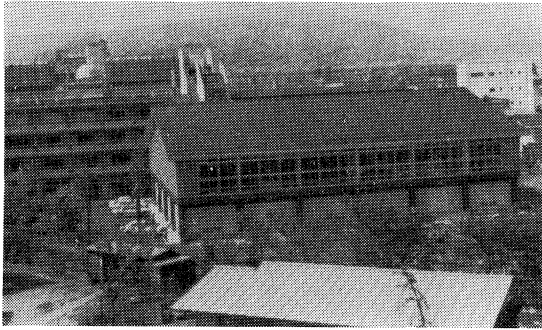
# 体育・保健体育講座の充実をめざして

一 1971年

福島県教育センターは、昭和四十六年四月一日に従来の「福島県教育研究所」並びに「福島県理科教育センター」を発展的に拡充統合して、新たな構想と規模のもとに、教職員の研修・教育研究の殿堂として発足した。

以来、教育研修・研究の機関としての事業を遂行し、本県教育の振興発展に寄与してきた。

昨年度（福島県教育センター発足十年目）は、待望して久しかった体育館が完成し、教育センター事業充実のための施設としてはもとより、研修生活における、健康管理や運動欲求充足の場として利用できることになった。



新装の体育館

この機会に、体育館の概略、研修生活における体育館利用の方法、体育・保健体育講座の内容について紹介する。

### 二 体育館の規模等

体育館の建設位置、規模は、次のとおりである。

(一) 建設位置：福島県教育センター敷地南端（宿泊棟南側）※駐車場は、情報棟と宿泊棟の間に移す。

(二) 規模：鉄骨鉄筋コンクリート造り 八百二十五平方メートル（含、管理室、用具室）、床面積八三十二メートル（東西）  
・二十四メートル（南北）V床仕様（さくら材フローリング、塗装仕上げ）

### 三 体育館の機能

研修・研究事業並びに研修生活における利用の両面から、機能を重視して設計し建設された。今後、年次計画により設備、用具・器具を整備し機能を生かしてゆくが施設・設備、用具・器具の現状は、次のとおりである。

(一) 施設・設備

・吊りなわ（五本吊り、一基）  
・助木（四欄、片開き移動式、一基）  
・鏡（壁面取付式、一面）

・バスケットボール（ゴール上下移動式、三対、コートM一面、S二面）

・バレーボール（床基礎金具、三組、コートM一面、S二面）

・バドミントン（床基礎金具、二組、

コートM一面、S二面）



体育館内部

コート二面）

・テニス（床基礎金具、一組、コート

・コーナー、一面）

・ボール当てボード（東、西壁面、的

七ヶ所）

・床基礎金具（低、高鉄棒、あん馬、

跳馬）

・リズム・サークル

・垂直跳び測定器取付設備（一ヶ所）

・放送設備（標準仕様一式、室内アン

テナ一基）

・セパレートネット（二張）

(二) 用具・器具

・ボール類（バスケット、バレー、ハ

ンド、テニス、バドミントン、卓

球）

・支柱類（バレーボール、バドミント